

第3回 横浜市障害者施策推進協議会会議録	
日 時	平成29年3月30日(木) 10時00分～12時00分
開催場所	関内中央ビル 10階大会議室
出席者 (五十音順)	岩沢弘秋委員 大橋由昌委員 北川はるみ委員 渋谷 治巳委員 清水龍男委員 須山優江委員 田中梨奈委員 永田孝委員 長谷茂 幸委員 中根幹夫委員 奈良崎真弓委員 西川麻衣子委員 森和雄 委員 森恵委員 山川理子委員 山田初男委員 和田千珠子委員 渡 部匡隆会長 渡邊雅子委員
欠席者	大友勝委員 多田葉子委員 戸塚武和委員 平井晃委員 山口哲顕委 員
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	1 議題 第3期障害者プランの見直しについて 2 報告事項 第3期横浜市障害者プラン市民説明会の開催状況について 平成28年度専門委員会の活動報告について 障害者差別の解消に関する市の取組状況について 障害者就労啓発事業(公共施設活用事業)について 平成29年度予算について 障害者虐待防止に関する広報・啓発用チラシの作成について 西部方面多機能型拠点の開所について ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017実施概要案
議 事	1 議題1 第3期横浜市障害者プランの見直しについて 事務局より資料1について説明した。  北川委員) プラン見直しのスケジュールについて4月から5月で「当事者ワーキングの実施」とあります。家に引きこもっている人は出られない。何らかの活動、非常勤の仕事をしている方がワーキングに参加することになる。交通費が出ないと伺ったが、それくらいは出してもらいたい。当事者や本人たちが使いやすい制度をつくっていくのだから、ぜひそのところはお願いしたい。  渡部会長) 出来るだけ声を聞き取りやすい工夫というものをお願いしたいということになると思うが、そのあたりについてはいかがなものか。  事務局) 交通費を出すというのは難しいので、なるべくこちらから出向

くということも組み合わせて多くの方のご意見を拾えるようにしていきたい。

渡部会長) 今後、聞き取りを行っていくうえで、できるだけ聞き取りが行いやすい手立てについての貴重な意見として受け止めてほしい。

須山委員) 当事者による相談の充実というのはピア相談のことだと思うが32年度には18区に派遣相談の活用と書いてあるが、どういうことか詳しく説明してほしい。

事務局) 現在も社会福祉法人型地域活動ホームでの派遣をする仕組みはできているが活性化していない。今年度から基幹相談支援センターの中身の充実に努めたい。

須山委員) ピア相談者がそちらに派遣されるということではないという事でいいのか。

事務局) ピア相談は社会参加推進センターの中でやっていただいているが、その中にも派遣する仕組みがあり、それを活用していくということを想定している。

大橋委員) 4月～5月の当事者団体からのインタビューとあるが、毎年の市の担当者で行っている話し合いとは別のものなのか。私たちとしては計画に盛り込んでほしいグランドデザイン的な部分と、非常に細かい部分での要望が混ざってしまうのは好ましくないと考えている。細かい問題から大きな問題までを一緒に進めていくのか。

事務局) ヒアリングでは日々の要望が上がってくると思われる。また、本来計画に盛り込むべき大きな問題も上がってくると思う。基本的には我々の方で仕分けしたいと思っているが、各団体のほうであらかじめ仕分けをしてまとめることが可能であればお願いしたい。

渋谷委員) 重度訪問介護について、病室が少なかったり引き受ける事務所が少ない、人も利用できる場所が足りない。利用していなくても入院ができる仕組みがほしい。人材の確保も大きな問題と思う。第3期障害者プランには何も書かれていなかったのもこれについても考えていかなければいけないと思う。重点的な取り組みが必要だ。

事務局) 重度訪問介護の訪問先の拡大に関しては病院の仕組みと福祉の仕組みが一緒に使えないということは変わっていない。それでも少しは前進はしてきている。ただ、それでは十分ではないので医療とどの湯に進めていくのか話もしていきたいと考えている。人材確保について。高齢分野、障害分野では人材確保が厳しい状況にある。事業運営の法人などと話し合いをして有効な確保策の検討を重ねてきた。給与改善の面では国の制度で見直さなければ難しいが、そのほかの点で他都市で有効な手段があればそういった事を導入することも検討したい。

渋谷委員) 人材の確保については今が大変な時期だ。

渡部会長) ご意見を受け止めて、事務局で検討してもらいたいと思う。

#### 報告事項 1

第3期横浜市障害者プラン市民説明会の開催状況について事務局より資料2について説明した。

#### 報告事項 2

平成28年度専門委員会の活動報告について事務局より資料3について説明した。

#### 報告事項 3

障害者差別の解消に関する市の取組状況について事務局より資料4について説明した。

和田委員) 差別について。資料1-1について。知的障害や精神障害により理解力が十分では・・・という表現がある。私は2年前に引っ越しをした。8年間住んでいた家が老朽化で出ていかなければならなくなり3月から5月の間に9件の家を見た。障害者で生活保護と言おうものなら借りたいといっても返事の電話も来ない。不動産屋や大家さんにも障害の理解をしてほしいと思う。障害者はペット以下なのかと思ってしまう。

渡部会長) 今のご意見に関して差別の解消につながる部分もあると思う。検討部会でも書きぶりに関しては意見があった。また、環境面に関しての取り組みの必要性が求められるのではないかという意見もあった。厚生労働省が作った法律の概要にこういった書き方をしている部分がある。非常に気になる書き方だが、環境面へアプロ

一斉の重要性は検討部会で議論がされた。このことについて事務局から関連することがあればお願いしたい。

事務局) 和田委員のご指摘に関して何ができているのかというのがあるが、一つは居住支援について大家さんの集まりで、障害のある人たちへの理解を進めていただくことがあると思う。国の方でも課題になっている。障害者だけでなく高齢者や外国人の方など住宅が探しにくい人たちに対して賃貸物件を登録する制度が話し合われている。都道府県単位でもあるのでそれから何ができるか課題として認識されているので、今後取り組みが進められればと思う。

渡部会長) 理解促進もあるが、同時にこれが不当な扱いとなるのかどうかということで、差別解消の中でどのように議論され位置づけられるかは今後の課題だと思う。受け止めるべき重い指摘だと思う。

大橋委員) 差別解消法の中で情報保障についてひとこと言いたい。「申し出によって」というのがポイントだ。私たちにっては何が重要な書類かどうかが分からない。担当者は承知しているのでここではこれ以上は繰り返さない。インタビューが4月5月にあるそうなので、そこまでペンディングにしておく。全庁をあげての視覚障害者への情報保護の検討をお願いしたい。

#### 報告事項4

障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について  
事務局より資料5について説明した。

#### 報告事項5

障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について  
事務局より資料6について説明した。

北川委員) 予算概要の7ページの障害者の相談支援事業について。国からの事業なので仕方がない部分もあると思うが、これをやっているところは生活支援センターなどで本当に追いつかない状況だ。生活支援センターで計画相談をすると他のもしながら計画相談をしなければならない。非常に手をとられ、お金もかかる。何度も相談をしなければならないが、お金は入ってこないのが難しい事業だと思う。高齢者のケアマネのような感覚でいたが、請け負ってやっているところから大変だと聞いている。この部分をもう少し改善してほしい。パソコンなどで入力して、計画相談が出来るなど

の方法もあると思う。使い勝手のいい計画相談にしてほしい。次に11ページの26の心の健康対策について。具体的にはどのようなものなのか？人員配置のことなのか。

事務局) 計画相談について。相談支援については前年度より2億円減らしている。事業所が増えず追い付いていない。今年度は実績を反映して2億円を減額しているのご承知おきいただきたい。必要分については予算がないのでやりませんということではないということも申し添えておく。事業者が大変だということに関して、計画づくりについてパソコンでという話もあったが、関係者との話し合いについて時間がかかる事は承知している。しかし、そこは大事なところなので省略するのは難しいと思っている。ご意見として受け止めたいと思っている。現在国の方で精神保健福祉法の改定が進められている。これができる、措置入院者の退院後の支援計画を作成することとなる。横浜市では措置入院者一人ひとりに計画を国に先駆け、支援計画としてどのように取り組むべきか検討をしている。平成29年度はアルバイト雇用をしてこの取り組みを進めていこうと思っている。その後実際にやってみてどのくらいの業務量があるかを検証していきたいと考えている。

北川委員) 計画相談というものの自体が非常に問題があると思っている。

渡邊委員) 北川委員と同じ観点だ。人的なものが追い付かない。2億円下がったというのは、請求する時間もないというものもあると思う。生活支援センターで相談を主とした業務でもあるし、措置入院の退院後の問題も抱えている。生活支援センターの職員と区のワーカーなどが同様の業務になりつつあるので、役割を分担する等すればもう少し改善された動きになるのではと思う。生活支援センターにも相談支援業務という委託があればいいと思う。区役所で相談を受けて。そこから生活支援センターで見てもらおうというのはどうかと思う。

渡辺会長) 今は難しさがあるが工夫をして改善が必要だという指摘に関しては受け止めてもらいたい。

中根委員) 計画相談もそうだが、障害者の移動支援について。以前カーシェアというモデル事業の取り組みがあったと思うが、頓挫してしまったのか？

事務局) 移動支援の全体の見直しをした時に検討を進めた。西区でモデル事業を行ったが、横浜市としての予算を伴うものではないのでここには載せていない。

#### 報告事項 6

障害者虐待防止に関する広報・啓発用チラシの作成について事務局より資料 7 について説明した。

渡辺会長) このポスターはまず家とか施設や職場に貼っておくことが大事だと思った。

#### 報告事項 7

西部方面多機能型拠点の開所について事務局より資料 8 について説明した。

渡辺会長) 細かいところになるが、定員のところで空欄になっているのは理由があるのか

事務局) 定員を設けているわけではないのでバーを引いていないだけだ。

#### 報告事項 8

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017 実施概要案事務局より資料 9 について説明した。

渡辺会長) 全体を通して何かあれば。

須山委員) 障害者から介護保険に移行する手続きは簡単だが、実際に介護保険を利用したがない人が多い。特に男性は多い。デイサービスに行きたがらないのは情報保障がないからだ。内容も塗り絵や歌やお手玉などで、デイサービス側は工夫をしてくれているが男性にとっては「自分たちは幼稚園児じゃない」という意見が多い。男性は今まで仕事をずっと続けてきて、地域との関わりもほとんどない。家に急にいるようになると細かいことに口を出すようになり奥様からも嫌われているというのが多いと聞いている。デイサービスの内容について、麻雀やゲームを通じてリハビリなどを行っている施設があるという話を聞いた。男性が行きたがる内容を考えてほしいという意見があったことをお伝えしたい。

事務局) 高齢者施策でも動きが出てきているので、そちらへの意見に含めたいと思う。ただ、介護サービスを受けなければいけないものではない。情報保障については障害福祉側からも考えていかなければいけないと思っている。

田中委員) 精神保健福祉からの参加ですので、地域移行についての視点が全体を通してもっと強く推進していただければと思っている。当事者ヒアリングでも前回の見直しの時、精神の当事者は自ら応じてくれる人が少なかったので、対象者の声として上がらなかった。構成が10分の2くらいだったと記憶している。引きこもりの方や入院中の方等声をあげられない方が精神障害者には多くいる。日の当たらない障害当事者の方にどういう風にアクセスをしていくかについて考えていただきたい。生活支援センターの人員が足りなくて、対策事業に取り組めなかったり、計画に取り組めなかったりすると聞いている。市内の地域に精神障害者が暮らしていくことについて具体的なサービスの見込み量や退院促進後の実態調査など現状を把握して目標を立てて計画的に退院促進・地域移行を進めていただきたい。

和田委員) 今言わないと風化してしまいそうなので言わせていただきたい。前回か前々回の会議の時に、やまゆり園の報告があった。その時には気が付かなかったが家に帰り読み直すと大変なことになっていると思った。精神障害者がターゲットになっていると感じた。知り合いに福祉新聞の記者の方がいて神奈川新聞に投書する手があるよと勧められた。私は匿名にしたいはなかったが匿名にしないと命を狙われるといわれ勝手に匿名にされてしまった。

(以下読み上げ)

「私は精神障害者です。統合失調症になって28年になります。同じく統合失調症の主人と今のところ健康な9歳の娘と3人で暮らしています。7月26日に起きた相模原市の障害者施設津久井やまゆり園の事件に心を痛めています。事件の検証及び再発防止チームの取りまとめは精神障害者をターゲットにしたものだと感じました。確かに人に迷惑をかける困った精神障害者もいます。でも、それと全く同じことが健常者にも言えると思います。『あなたは障害者のわりには幸せそうに見えますよ』と言われたことがあります。障害は不幸ではありません。不便で不自由なだけです。大部分は息をひそめて、偏見や差別を受けながら暮らしている人たちです。私が身ごもった時に周りから中絶をしなさいと言われました。劣った人間は生きる資格がないというのははじめではないでしょうか。それぞ

	<p>れに違う人だと認め合える社会になってもらいたいです。」</p> <p>渡辺会長) しっかりと受け止めたいと思う。最後に何かあれば。</p> <p>渡邊委員) 見直しプランを地域の中でどう考えていくのか、一言でも文書に残して上手に提案をしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>資料1 第3期障害者プランの見直しについて</p> <p>資料2 第3期横浜市障害者プラン市民説明会の開催状況について</p> <p>資料3 平成28年度専門委員会の活動報告について</p> <p>資料4 障害者差別の解消に関する市の取組状況について</p> <p>資料5 障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について</p> <p>資料6 平成29年度予算について</p> <p>資料7 障害者虐待防止に関する広報・啓発用チラシの作成について</p> <p>資料8 西部方面多機能型拠点の開所について</p> <p>資料9 ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017実施概要案</p>